

## モデル作業所の事例

システムを導入いただいた作業所にデータ調査のご協力いただき、算出しました。

あくまでも、協力いただいた作業所での概算のデータとなりますので、すべての作業所に当てはまるとは限りません。

### 【モデル作業所の基礎データ】

工事金額 5 億円 工期 12 ヶ月 52 週 総稼働日数 280 日 12 時間 / 日  
 所長 280 日 \* 10 時間 = 2,800 時間 (残業含む) 年俸 750 万円  
 主任 280 日 \* 12 時間 = 3,360 時間 (残業含む) 年俸 500 万円  
 係員 280 日 \* 12 時間 = 3,360 時間 (残業含む) 年俸 380 万円

### 【システム導入前の業務時間表】

ご提供いただいたシステム導入前の作業時間データ

	所長	主任	職員
<b>A_訪問・面談・打ち合わせ</b>			
顧客・来客打ち合わせ	364	33.6	0
設計事務所打ち合わせ	420	33.6	0
業者・商社取決打ち合わせ	420	0	0
<b>B_定例会議段取</b>			
定例会議 (毎週)	280	336	67.2
定時会議 (毎日)	28	336	168
協力業者打ち合わせ (段取り業務)	140	974.4	1,008
<b>C_各書類作成</b>			
見積・実行予算関連書作成	140	0	0
社内提出書類作成	280	168	168
安全書類作成チェック	28	33.6	100.8
ISO・CALS関係書類	84	336	336
写真撮影整理	0	33.6	100.8
官庁関係届け書類作成	28	33.6	33.6
竣工書類作成	28	33.6	33.6
施工図作成・各チェック (30業種)	0	336	336
<b>D_現場巡回</b>			
現場巡回 (安全～施工管理)	560	672	1,008
<b>合計</b>	<b>2,800 (時間)</b>	<b>3,360 (時間)</b>	<b>3,360 (時間)</b>

### 【システム導入前の時間単価の算出】

職員全体の作業時間の合計 = 9,520 時間 (残業含む)  
 職員全体の年俸の合計 = 計 1,630 万円  
 年俸 を作業時間 で割った時間単価 = 約 1,715 円 / 時間

**+ 会社経費 + 福利厚生などを含めた時間単価 = 約 4,712 円 / 時間**

( 残業手当は未計上とします。 )

## システム導入後の作業時間の詳細

### A 訪問・面談・打ち合わせ

#### 「顧客・来客打ち合わせ」

顧客がネット上で閲覧できるスペースを設ける事で、ネット上にて現場進捗状況などが把握でき、作業所を訪問する回数が減り、応対に掛かっていた時間を削減できます。

**時間的拘束削減 2 時間 / 回 \* 月 2 回 = 4 時間 \* 12 ヶ月 = 48 時間 減**

#### 「設計事務所打ち合わせ」

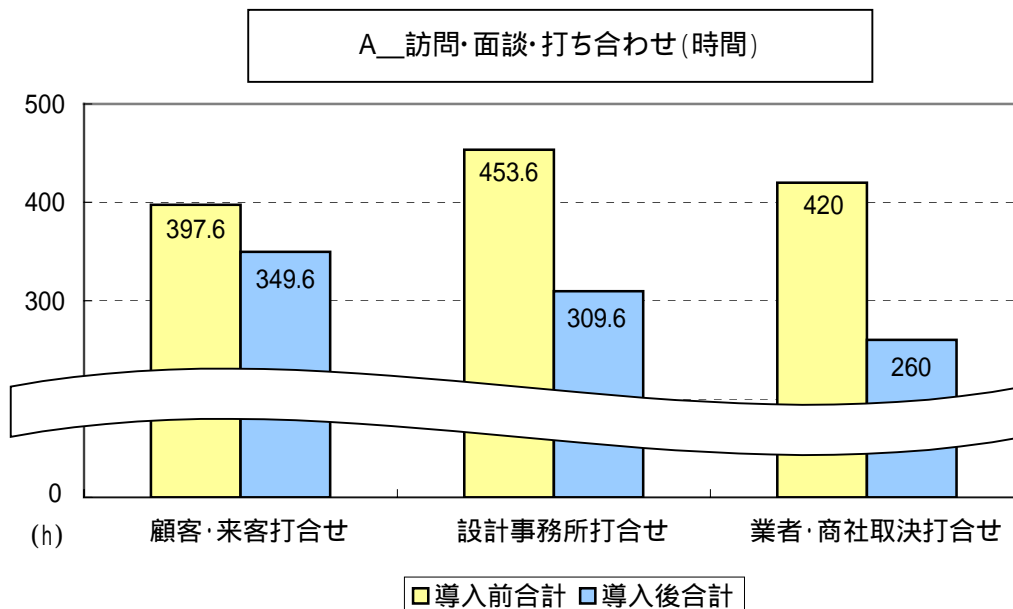
設計事務所と定例会議以外にも双方訪問・面談しながらの打ち合わせ、また、資料(図面、見本、その他資料)の受渡しなどの移動時間は 1 回数時間掛かる。または拘束されることが多いので、このシステムを利用する事により双方訪問など大幅に少なくなります。

**時間的拘束削減 3 時間 / 回 \* 月 4 回 = 12 時間 \* 12 ヶ月 = 144 時間 減**

#### 「業者・商社 取決・打ち合わせ」

着工時から各業者の見積徴収など予め営業訪問商社・業者との面会打ち合わせが全業種に時間拘束される。それを予めネットに資料(設計図、参考資料)などを入れておくことにより訪問回数が減る事になる。また、見積書などもネット上で受け取ることにより面会時間が削減される。(雑費、時間、用紙、コピー代、通信費など)

**80 社 \* 2 時間 / 回 = 160 時間 減**



**B 定例会議・段取り****「定例会議(毎週)」**

この項目は事前に情報公開し、ある程度の打ち合わせ、協議されておりますので、打ち合わせの時間が2/3ですむようである(モデル作業所の状況から)

そこで4時間平均の2/3として約2.6時間程度に削減。

**1.4時間減/回 \* 52週 = 80時間 減**

**「定時会議(毎日)」**

変更なし

**「協力業者打合せ(段取り業務)」**

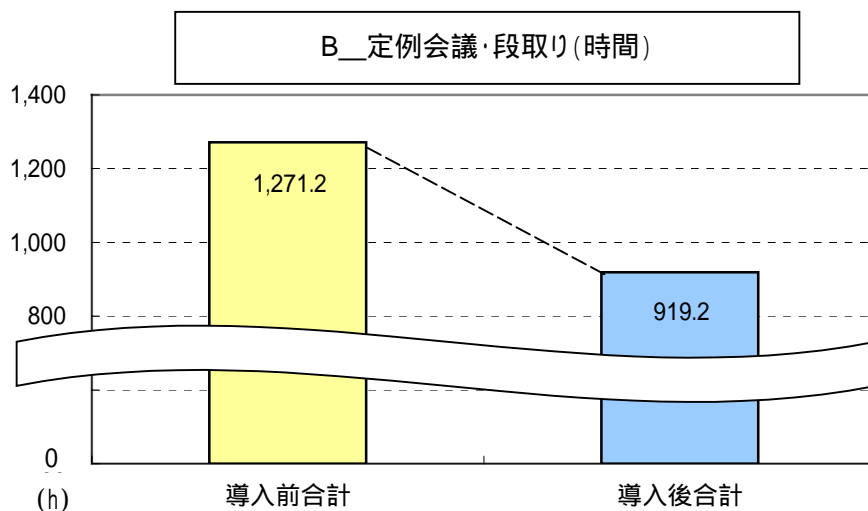
毎日朝から夕方まで取引先に段取りの電話連絡、担当者が居なければ待受けになる。各業者に「安全教育」「書類」「図面説明」「工程」「取合い」「他段取り」で面会打ち合わせ、毎日これら繰り返しで行われています。従来手渡ししていた物「書類」「図面」「資料」などをネットに置き、各関係者にダウンロードさせ情報伝達をはかることで、通信コスト、時間拘束などが大幅に改善。

この項目は事前に情報公開しておりますので面会打ち合わせ時間が1/2ですむようである(モデル現場の状況から) そこで4時間平均の1/2として2時間程度になる

**2時間/日 \* 280日 = 560時間 減**

目に見える電話、FAX通信費、図面青焼、コピーなど低減(ネットで代用可)

また、上記の手配、作業実働時間なども同時に低減



## C 各書類作成・整理

### 「書類関連」

様々な書類の雛形をサーバーに保存しておき、作業所、協力業者、関係者が必要なときに、必要な書類をダウンロード。完成した書類をサーバーへアップロードする事により、データを共有できます。お互い移動時間、面会時間、拘束時間が必要なくなり、いつでも、どこでも業務が可能になり時間を有効に活用できる。

(情報受け渡しに掛かる通信、外注、時間コストが皆無となる)

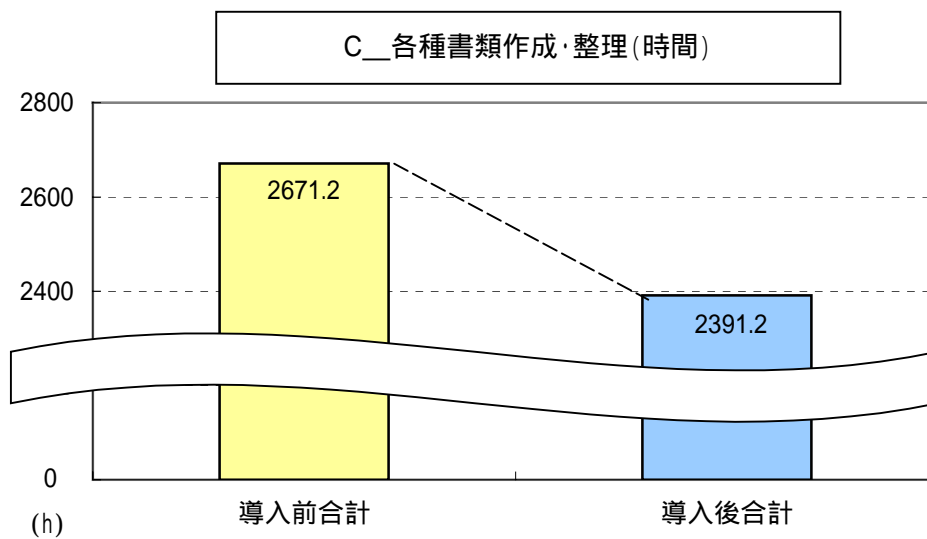
### 「図面関連」

工事に必要な「設計図」、「資料」など関係者が必要なときにダウンロード

工事に関わる施工図を必要とする業者 80 業種、施工図書く業種 20 社が常にネットを介し情報伝達、情報共有を図る

(情報受け渡しに掛かる通信、外注、時間コストが皆無となる)

1 時間 / 日 \* 280 日 = 280 時間



## D 現場巡回

### 変更なし

システム利用により有効に活用できる時間が大幅に増え、巡回時間が増える事は確かである。

## 削減時間、コストの算出結果

## 【システム導入後の業務時間表】

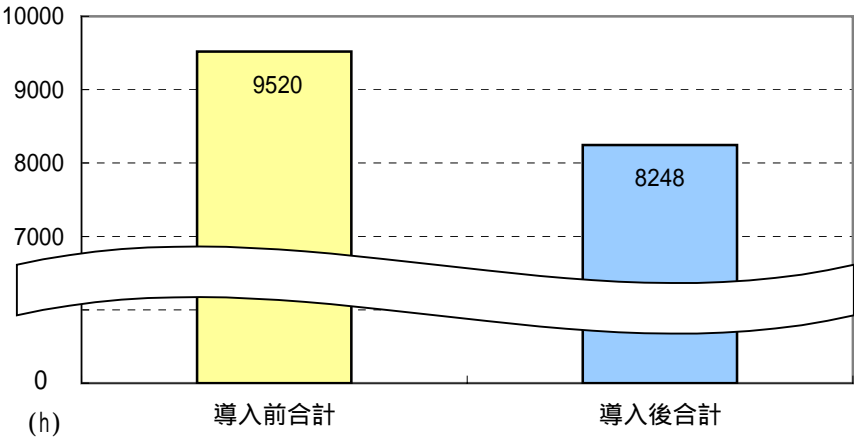
システム導入後の作業時間の变化と削減時間を算出しました。

	所長	主任	職員
<b>A 訪問・面談・打ち合わせ</b>			
顧客・来客打ち合わせ	320.0 (-43.9)	29.5 (-4.1)	0.0
設計事務所打ち合わせ	286.6 (-133.3)	22.9 (-10.7)	0.0
業者・商社取決打ち合わせ	260 (-160)	0.0	0.0
<b>B 定例会議段取</b>			
定例会議(毎週)	247.2 (-32.8)	296.6 (-39.3)	59.3 (-7.87)
定時会議(毎日)	28.0	336.0	168.0
協力業者打ち合わせ(段取り業務)	103 (-36.9)	717.3 (-257.1)	742.0 (-266.0)
<b>C 各書類作成・整理</b>			
見積・実行予算関連書作成	105 (-35)	0.0	0.0
社内提出書類作成	264 (-15.9)	158.4 (-9.6)	158.4 (-9.6)
安全書類作成チェック	21.9 (-6.04)	26.3 (-7.2)	79.0 (-21.7)
ISO・CALS関係書類	80.1 (-3.9)	320.4 (-15.6)	320.4 (-15.6)
写真撮影整理	0.0	24.85 (-8.8)	74.55 (-26.3)
官庁関係届け書類作成	17.7 (-10.3)	21.2 (-12.4)	21.2 (-12.4)
竣工書類作成	17.7 (-10.3)	21.2 (-12.4)	21.2 (-12.4)
施工図作成・各チェック(30業種)	0.0	318.5 (-17.5)	318.5 (-17.5)
<b>D 現場巡回</b>			
現場巡回(安全～施工管理)	560.0	672.0	1,008.0
<b>合計</b>	<b>2,425.8 (-374.1)</b>	<b>2,911.0 (-448.9)</b>	<b>2,911.0 (-448.9)</b>

## 【システム導入後の削減時間】

	導入前合計	導入後合計	削減時間
<b>A 訪問・面談・打ち合わせ</b>	1,271.2	919.2	352.0
<b>B 定例会議段取</b>	3,337.6	2,697.6	640.0
<b>C 各書類作成・整理</b>	2,671.2	2,391.2	280.0
<b>D 現場巡回</b>	2,240.0	2,240.0	0.0
<b>合計</b>	<b>9,520.0</b>	<b>8,248.0</b>	<b>1,272.0</b>

システム導入前と導入後の労働時間の比較



## 【システム導入後の削減コストの算出】

モデル作業所でのシステム導入後の削減時間は 1272 時間、時間単価約 4,715 円 / 時間とすると

**削減時間及び削減コスト 1,272 時間 約 6,000 千円**

## 【様々な時間、コスト削減】

1. 顧客・監督官庁・設計事務所・協力業者などに拘束される時間、コストの削減
2. 本来は面談の必要のない打ち合わせ時間、コストの削減
3. 電話、FAX、コピー、青焼き、一般事務用品など直接コストの削減
4. 事務員などをお願いしていた軽事務業務などの削減
5. 建築管理職及び会社役員職の作業所巡回の回数を削減  
移動時間、交通経費(ガソリン、駐車場など)、交際費(お茶代)など

## 【顧客満足度】

1. 建築現場状況が 24 時間どこからでも確認できますので、顧客満足度の上昇
2. 官庁関係からIT化に向けた評価が得られる(施工における創意工夫として)
3. 設計事務所からIT化に向けた評価が得られる。
4. 近隣住民に告知、情報公開ができる(必要により公開)

## 【効率的な人員配置】

1. 必要な時、場所に、必要な人材を集中配置
2. 事務処理スタッフの複数作業所での共有(統合もしくは事務処理スタッフの移動)  
派遣職員で補っている部分を、職員の効率的な移動を行う事で人件費の削減が図られる。

## 【システム利用後の効果】

システムを利用し、「**情報開示**」を行うことで、協力業者を「**指示待ち段取り方式**」から「**先行段取り方式**」に体質を改善することが可能となります。また、効率的な時間の配分、無駄な時間の削減により様々なコスト削減、人員の効率的な配置などが可能になり最終的に収益の改善が図られます。

## 【モデル作業所の結果に対する補足説明】

民間工事、官庁工事でデスクワークの時間配分が大幅に変わります。コスト比較は会社規模、仕分けにより変わりますが総合コストは減ります。作業所が市内、地方で移動コスト(交通機関、ガソリン、高速その他)の評価が変わります。会社規模で考えるか(長期的展望)、作業所単位で考えるか(短期的展望)によって評価が変わります。何を目的にするか(情報の一元化、業務の省力化、少ない人員配置、人員削減)により評価が変わります。協力業者関連の按分的なコスト関連を除いています。

## システム導入後のパフォーマンス

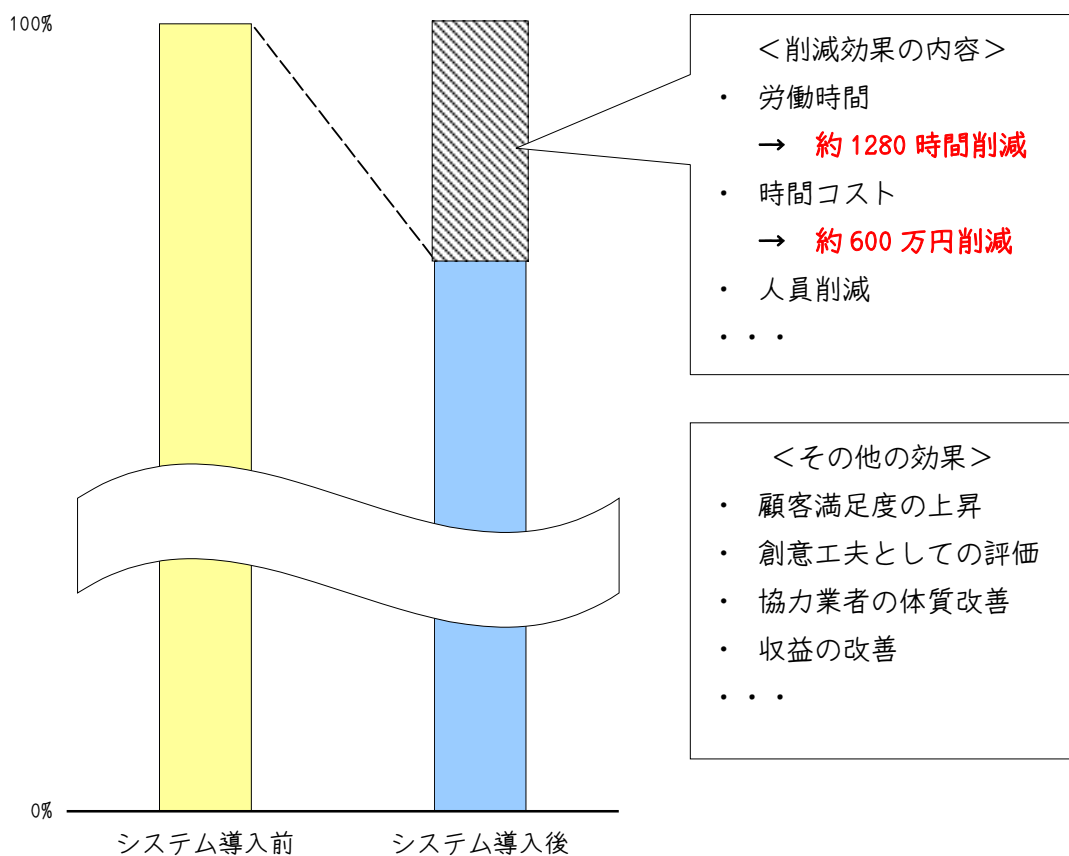
### <モデル作業所事例>

#### 【調査にご協力いただいた作業所の基礎データ】

工事金額 5 億円 工期 12 ヶ月 (52 週) 総稼働日数 280 日 職員数 3 名

総労働時間 9,520 時間 (その他残業含む) 総年俸 1,630 万円

時間当たりの単価 1,715 円 会社経費、福利厚生などを含めた時間単価 4,715 円



※協力いただいた作業所での概算データとなりますので、すべての作業所に当てはまるとは限りません。

システムの導入により「時間」、「コスト」の削減

システムの活用により、有益な相乗効果が生まれます。

